

## 令和7年度自家用電気工作物保安管理業務特記仕様書

### (目的)

第1条 この特記仕様書は、春日那珂川水道企業団が管理する浄水施設等において、委託者が設置する自家用電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安の監督に係る業務委託について、以下に定めるものとする。

### (適用範囲)

第2条 この特記仕様書は、令和7年度自家用電気工作物保安管理業務に適用するものとする。

2 特記仕様書に定めていない事項は、春日那珂川水道企業団水道用機械・電気設備保守点検業務委託共通仕様書及びその他関係法令で定めるものとする。また、特記仕様書の定めと共通仕様書の定めが異なる場合は、特記仕様書によるものとする。

### (履行場所及び契約対象電気工作物の概要)

第3条 契約対象電気工作物の概要は別紙のとおりとする。

### (契約期間)

第4条 本契約は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までとする。

### (電気主任技術者の選任)

第5条 受託者は、自家用電気工作物の保安管理をさせるため、電気主任技術者を選定し、関係官公庁に届け出ること。

### (関係官公庁への申請)

第6条 受託者は、業務の履行に必要な関係官公庁等に対する申請書類の作成、提出及び手続の一切を代行し、これに要する費用は受託者の負担とする。

2 関係官公庁等に対して交渉を要するとき、または交渉を受けたときは、遅滞なくその旨を委託者に申し出て協議すること。

3 関係官公庁等の検査がある場合は、受託者が立会い、これに要する費用は受託者の負担とする。

### (点検内容等)

第7条 受託者が定期的に行う点検内容及び頻度は、春日那珂川水道企業団自家用電気工作物保安規程及び経済産業省原子力安全・保安院 九州産業保安

監督部の「自家用電気工作物の標準的な点検項目について」（最新版）によるものとする。

(1) 月次点検

毎月1回以上、施設の運転中に点検、測定及び試験を行うこと。ただし、絶縁常時監視装置等を設置する場合には隔月1回の頻度でも可能とする。太陽光発電設備は、6月ごとに1回点検するものとする。

(2) 年次点検

年1回以上、施設の運転中又は施設の運転を停止して精密な点検、測定及び試験を行うこと。

(3) 臨時点検

異常が発生した場合等、必要に応じて原因究明等を目的として点検、測定及び試験を行うこと。

(4) 工事中点検

電気工作物の設置又は変更の工事についての設計の審査及び竣工検査を行い、必要に応じそのとるべき措置について委託者に報告すること。また、工事期間中、週1回以上の巡視・点検及び測定・試験を行うこと。

(5) 助言及び協議

電気工作物の工事、維持又は運用に関し保安上必要と判断される事項については委託者へ助言し、協議を行うこと。

(6) 事故への対応

受電設備等の事故が発生した場合は、直ちに委託者へ通知し、応急処置を行うこと。また、必要に応じて精密点検を実施し、事故原因の調査及び再発防止を図ること。

(7) 立入検査への立会い

法令に基づく官公庁の検査への立会いを行うこと。

(8) 経済産業大臣への提出書類の作成

経済産業大臣への提出書類及び図面について、その作成及び手続を行うこと。

(9) その他

その他、電気主任技術者が行うべき業務を行うこと。

(一般事項)

第8条 故障等緊急の場合は、その都度呼び出しに即時応ずるものとし、迅速に正常に復するよう処置するものとする。ただし、点検回数には、算入しないものとする。

2 点検実施中、各機器において修理が必要となる個所を発見した場合、その

都度企業団担当者へ連絡し、指示を受けるものとする。

3 点検終了後、点検結果報告書を作成し、企業団担当者へ提出すること。

4 点検時期については、企業団担当者と緊密な連絡のもと、その指示に従うものとする。

(その他)

第9条 この仕様書は、業務の概要を示すものであるが、企業団担当者が管理上特に必要と認めた軽微な業務については、仕様書に記載していない事項であっても契約金額の範囲内において実施するものとする。